



飛 翔

7号



学校行事で「生き方」を学ぶ！！

9月10日(火)～12日(木)に3年生の修学旅行を実施しました。9月の残暑が残る中での活動でしたが、3年生にとって、楽しみにしていた奈良、京都方面の神社仏閣等を見学してきました。いにしへの文化が今に息づいている古都の素晴らしさを満喫することができました。

9月17日(火)は、弁当の日講演会を全校生徒対象に「自分で考え自分で決めて、自分で作る弁当の日の大切さ」をテーマに実施しました。この講演から「命はいろいろなつながりの中で守られていて、人と人とのつながり、人と自然とのつながり、そして体と心とのつながりがある」ということと、「自分をしっかりもってつながりを大切に生きることは、100年先の命につながる」ということを学ぶことができました。



9月24日(火)は、2年生を対象に「働くことについて」をテーマに講演会を実施しました。講師の方から職場体験を直前に控えている2年生に向けて、働くことの意義や意味について分かりやすく説明していただきました。「働くことの最大の目的は、労働に従事する人たちの自分自身の心を鍛錬し、人間性を高めることにある」という稲盛和夫さんの話や「薫陶」という言葉を紹介され、生き方について深く考えさせられる内容でした。



9月27日(金)は、1年生を対象に環境教育講演会を実施しました。高原学校を控えた1年生がより榛名の自然を身近なものとして捉え、「なんで！ どうして！ もっと！」を意識して、私たちが自然と関わることの大切さを学ぶことができました。



学校では、様々な行事を通して、いかに生きていくかを考えさせ、明るい未来に向かって果敢に挑戦する生徒を育てていきたいと考えています。

3年修学旅行の感想 実行委員長

事前に修学旅行新聞を発行し、ルール等も確認しながら当日を迎えました。群馬にはない1500年前のお寺や神社に触れて、先人達が文化財を大切にしてきたことが分かりました。班別活動で困ったときに地元の人が道案内してくれ、優しさを感じました。この学習を通して、私たちの周囲にある地元の文化に目を向け、大切にしていきたいです。

3年修学旅行の俳句紹介

- 1組 古都の秋 写真の顔は 皆まぶし
- 2組 秋風よ どうか私に 吹いてくれ
- 3組 帰り道 嬉し悲しき 月夜かな
- 4組 迷う道 トンボが道の 案内員
- 5組 秋の川 列車とともに どこへいく



能舞台にて



法隆寺にて



清水寺にて



トロッコ列車内にて